

# AI・LINEで機能拡充

## フジテコムリークネットセルラー

フジテコムは、クラウド型IoT遠隔漏水監視システム「リークネットセルラーLNL-C」の機能を拡充し、サービス提供を開始した。主な新機能は「AIによる漏水判定」と「LINEでの情報共有」で、専用ウェブアプリのデータ共有機能も強化。これらを組み合わせることで、さらなる業務効率化や迅速な事故対応が可能になる。

### 漏水対応をより迅速に

LNL-Cは、通信ユニットを備えた漏水センサー(セルラーロガー)を仕切弁や消火栓に設置することで、携帯電話通信網経由でクラウド上にデータを自動収集する。主要道路や軌道下など重要路線での中長期的な設置を想定しており、平時からの継続的な監視によって漏水の兆候を検知し、事故の未然防止・早期発

見を図ることができ、漏水センサー自体は約170事業体で使われてきた従来のシステム「フジークネットLNL-1」と同じもので、管路を伝播する音を最小音圧値として記録する。LNL-Cはデータをクラウドへと毎日送信し、独自のロジックで漏水の有無を判定する。Googleマップを利用した専用アプリでは、漏水判定の結果をはじめ、測定データのトレンドグラフ、各ロガーの設置箇所・設置日・電池残量などをウェブ上で確認できる。

判定結果は「異常なし」「経過観察」「漏水」の3段階で示されるが、今回のバージョンアップでAIによるハイブリッド判定を実装。AIが設置環境などによる誤差を補完し、学習効果によって継続的な判定精度向上が期待できる。

また、漏水と判定した場合に自動発報するアラートを、これまでのメールに加えて「LINEグループ」へのプッシュ通知でも受信できるようにした。同社の担当者は

「LINEで行っている事業体は少なくない。アラートをLINEグループで受け取れば、そのまま指示や報告が可能となり、漏水発生から修繕までの対応の迅速化につながる」としている。

さらに専用アプリの機能を強化し、マップに多様な形式のデータファイルを紐づけられるようにした。同社の担当者は

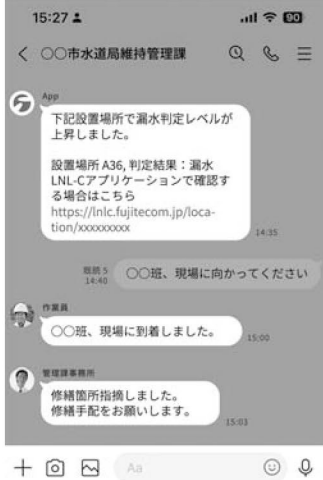
「LINEで行っている事業体は少なくない。アラートをLINEグループで受け取れば、そのまま指示や報告が可能となり、漏水発生から修繕までの対応の迅速化につながる」としている。

「LINEで行っている事業体は少なくない。アラートをLINEグループで受け取れば、そのまま指示や報告が可能となり、漏水発生から修繕までの対応の迅速化につながる」としている。

「LINEで行っている事業体は少なくない。アラートをLINEグループで受け取れば、そのまま指示や報告が可能となり、漏水発生から修繕までの対応の迅速化につながる」としている。

セミナーを開催する。テーマは「IoTを活用した漏水対応業務の迅速化」。参加費無料、申込締切は同21日。

内容は4日程とも同じで、いずれも13時半から14時までの開催。配信にはZoomを使用する。詳細・申し込みは別掲のQRコードから、または電話03(5825)2588、メールle-honbu@fujitecom.co.jp(営業本部)まで。



LINE画面のイメージ

「部署内の業務連絡をL